

安全データシート (SDS)

作成日

2020年6月1日

製品名 (化学名、商品名) パナテトラ (酸化亜鉛)

1. 化学物質等及び会社情報

【化学名】 酸化亜鉛

【製造者情報】

会社名 : 株式会社 アムテック

住所 : 大阪府豊中市稲津町3-1-1

連絡 : TEL 06-6866-8508 FAX 06-6864-1446

担当部門 : 開発グループ

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支援性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	区分外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食物質	分類不可
人健康有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 粉塵)	区分5
	急性毒性 (吸入: ミスト)	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	呼吸器官差性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異厳性	分類できない
	発がん性	区分外
	特定標的臓器・全身毒性	区分1 (吸入・全身)

環境有害性	特定標的臓器・全身毒性	区分1 (吸入・肺)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分1

3. 組成、成分情報

【物質名】	酸化亜鉛
	(英名) Zinc oxide(EINECS 名称) Zinc oxide(ZnO)(TSCA 名称)
【含有量】	99.9%以上
【化学式】	ZnO
【化審法番号】	1-561 (酸化亜鉛)
【CAS No】	1314-13-2 (酸化亜鉛)
【EC No】	215-222-5

4. 応急措置

【眼に入った場合】	直ちに流水で十分洗浄する。 痛みが取れない、過度に涙が出る、赤目が続く、等の場合は、専門医の診療を受ける。
【皮膚に付着した場合】	流水や石鹸水で十分に洗い流す。 痛みや炎症等を起こした場合は、専門医の診療を受ける。
【吸入した場合】	咳き込む、息切れする、喉や呼吸器管に刺激を感じる等の症状がある場合は、直ちに新鮮な空気のある所に移動する。さらに、その症状が治まらない時は、専門医の診療を受ける。

5. 火災時の処理

周囲に適した消化方法を取る。(本物質自体は不燃)
 使用不可の消化剤： 棒状注水
 消化作業の際は、吸気式呼吸保護具等の各種保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置
 作業者は適切な保護具を着用し、目、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
 粉塵が空気中に飛散しないように注意しながら、真空掃除機、等により除去する

環境に対する注意事項
 河川等に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。
 粉塵の発生を防止するため、状況によって水で湿らせた後に回収する。

封じ込めおよび浄化作用・機材
 危険でなければ、漏れを止める

二次災害の防止策
 排水溝、下水溝、地下鉄あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策 「6. ばく露防止および保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 居所排気・全体換気 「6. ばく露防止および保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
 安全取扱い注意事項 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること

接触、吸入又は飲み込まないこと

接触回避 「8. 安定性および反応性」を参照

保管

技術的対策 特別に技術的対策は必要としない

保管条件 容器を密閉して換気の良い涼しい所で保管すること
施錠して保管すること

容器包装材料 包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度 設定されていない

許容濃度 日本産業衛生学会（2005年）

第二種粉塵 吸入性粉塵 1 mg/m^3

総粉塵 4 mg/m^3

ACGIH（2005年）

TLV-TWA 5 mg/m^3

TLV-STEL 10 mg/m^3 （粉塵）

設備対策 粉塵の発生する恐れのある作業場には局所排気設備を設ける。

保護具 状況に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用する。

衛生対策 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと

取り扱い後はよく手をあらうこと

9. 物理・化学的性質

物理的状態、形状、色等 白色粉末、

臭い 無臭

融点・凝固点 1975°C

沸点、初留点および沸騰範囲 昇華

引火点 非引火性

爆発範囲 データ無し

蒸気圧 データ無し

蒸気密度 データ無し

比重 5.78

溶解度 水に不溶

自然発火温度 データ無し

分解温度 データ無し

燃焼性 非該当

粘度 データ無し

10. 安定性および反応性

安定性 常温、常圧化では安定

危険有害反応性可能性 加熱するとアルミニウム、マグネシウムの粉末、塩素化ゴムと反応する。

避けるべき条件 混触危険物との接触

混触有害物性のある分解生成物

11. 有害性情報

急性毒性 経口 ラット $\text{LD}_{50} > 7950 \text{ mg/kg}$ (EU-PAR 43(2004))のデータから、区分外とした

経皮 情報無し

吸入 (粉塵) ラット LC50>5.7mg/L(EU-PAR43(2004)なので、区分5とした
皮膚腐食性・刺激性 ACGIH(2003)および EU-RAR43(2004)に引用されたウサギの実験で
無刺激とされているので、区分外とした。

目に対する重篤な損傷・眼刺激性：EU-RAR(2004)に採録されている3件の報告は、2件が極めて
軽度の刺激、1件が無刺激であり、無刺激と判定しているので区分外とした

1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害性 藻の 72 時間 EC₅₀=0.17mg/L (酸化亜鉛濃度換算値:0.21mg/L) から区分 1
水生生物に非常に強い毒性 (区分 1)

水生環境慢性有害性 急性毒性が区分 1、生物蓄積性が低いものの (BCF=217(既存化学物質安全
性点検データ)) 金属化合物であり水中での挙動が不明であるため区分 1
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性 (区分 1)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準にしたがうこと
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団
体はその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上
処理する。

汚染容器および包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準
に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

1 4. 輸送上の注意

U.N. 分類 : Class 9

U.N. 番号 : UN3077

容器クラス III

非該当数量 3 0 K g

特別の安全対策 輸送に際しては、直接日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように
積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 名称等を通知すべき有害物
(法第 5 7 条の 2、施行令第 1 8 条の 2 別表第 9)
(政令番号 第 1 8 8 号)

化学物質排出把握管理促進法 (P R T R 法) : 非該当

1 6. その他

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

危険・有害性の情報は、現時点で入手できうる資料・データ等に基づいて作成しております。